

別記様式第5号（6の2関係）〔1枚目〕

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

| 評価日 29年 3月 21日 | | | |
|----------------|----------------------|------|----------|
| 団体名 | 佐久熱気球クラブ | | |
| 事業名 | 熱気球による「まちづくり・人づくり」事業 | | |
| 対象経費 | 2,865,012円 | 支援金額 | 471,000円 |

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・内容 | 目的 ゴールデンウィーク中に開催している佐久バルーンフェスティバルは、「子ども達に体験を」をコンセプトに県内外から30万人を超える観客を集め、佐久の風物詩となっています。佐久地域は長野県の東の玄関口として北陸新幹線、高速交通網の優位性を活かし、関東方面からの誘客をさらに増やすとともに県下各地で熱気球を利用した体験搭乗や今回作成する子供向けの熱気球教室の資料を使った熱気球教室などを行い、交流人口の増加による観光産業の振興と人々に感動体験を与えます。 また、事業を達成するために熟練したスタッフの養成（新気球による訓練を積み）を図り、豊かな発想と実行力を持つ人々を掘り起します。 |
| | 内容 長野県で唯一熱気球グランプリ大会を開催していることから熱気球のまちとして熱気球を通じて老若男女が協力しあい活動をしています。今までのイベントへの参加と今後さらに広域的なイベントにも参加するため、若者パイロットの養成・熱気球教室を開催する中で子ども達へ夢と希望を提供していきます。地域の特徴である熱気球を活用し、佐久広域や県下各地でのイベントにも参加し、大勢の人達に「夢・感動体験」を届けることによる心の活性化、交流人口の増加と地域活性化へ取り組みます。 1. 新気球を製作し熱気球操縦士の養成 2. 佐久バルーンフェスティバル、他の競技大会各種イベントへの参加 3. 子供を対象にした熱気球教室（熱気球教室用資料冊子使用）の開催 |

| | |
|---------|---|
| 事業の活動実績 | 1. 新気球を製作し熱気球操縦士の養成。 新気球・佐久咲丸IIが平成28年10月8日（日本気球連盟登録日）納品され、一人の訓練生（年齢36歳）を新気球にて11月12日より熱気球操縦士とし訓練中。（講習会受講・筆記試験合格済、現在実技試験を受けるべく最後の訓練中） 訓練生は佐久商工会議所青年部のメンバーでもあり、今迄熱気球に関わっていなかった方も青年部挙げてお手伝いに入りクルーとして参加。（一部はクラブ入会）イベントも含めて関わる方の平均年齢が若返っている。 2. 佐久バルーンフェスティバル他の競技大会、各種イベント係留への参加。 ホンダグランプリ・渡良瀬（4月8日～10日）、佐久（5月3日～5日） 鈴鹿（9月17日～19日）、一関（10月14日～16日）、 佐賀世界選手権（10月31日～11月6日） たから市（7月2日） バルーンのまち佐久で熱気球を体験（7月3日・8月14日・9月22日） 台湾インターナショナルバルーンフェスタ（7月9日～19日） 東北震災支援イベント「空を見上げてin大船渡」（9月3・4日） 能登青少年交流の家（9月25日） 県立こども病院祭（10月10日） 県立長野養護学校（11月30日） 佐久市PR動画作成「熱気球編」（12月3日） 第19回「空からサンタがやってきた」（12月23日～25日） 望月中学校竣工記念係留（平成29年1月27日） 大会や体験搭乗会では信州・佐久のロゴ入りの係留用気球（訓練用でない大型気球）にて参加し台湾や県外の各地にて信州・佐久の宣伝と共にフライトと係留の経験を積み（スキルアップ）ました。 3. 子供を対象にした熱気球教室（熱気球教室用資料冊子使用）の開催 熱気球教室・平成28年度13回開催、資料4,847部配布。（詳細別紙） 鈴鹿大会以降のホンダグランプリでは昼間熱気球の飛行がない為、屋外で主に子どもを対象に熱気球教室を開催して熱気球にさわってもらったり、熱気球教室資料を使って熱気球の歴史や空を飛ぶ原理を学ぶ熱気球教室を開催しました。 長野養護学校では体験搭乗会終了後、古い熱気球を体育館で広げ球皮内体験や、夢や希望を書いて貼り合わせたオリジナルの紙風船を作成し、熱気球は暖かい空気は冷たい空気より軽い原理を利用して空に浮かぶ実験をしました。 |
|---------|---|



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

| | |
|----------|---|
| 事業の成果・効果 | 成果 新気球製作により技術者（パイロット）の養成とそれに伴い今まで関わっていなかった若い年代のお手伝いの方が参加するようになってクラブ活動も活性化され、今までとは違った発想にてイベントも開催された事。 古い気球と熱気球教室冊子の資料を使った熱気球教室を開催し地元、そして更には全国の子ども達と夢や希望・感動体験を共有出来た事 広域地域へのイベント参加回数：H27、15回 → H28、18回 実績 対27比20%増 熱気球操縦士会員増強 ：1名養成中（筆記試験合格済） ：H27、96件 → H28、101件 実績 対27比5.2%増 |
| | |

| | | |
|------|---|---|
| 自己評価 | 事業は申請どおり実施できた 主な理由（3、4と答えた場合のみ） | 1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかつた 4 ほとんどできなかつた |
| | 事業の実施によって、期待した効果をあげることができた 主な理由（3、4と答えた場合のみ） | ① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかつた 4 ほとんどできなかつた |
| | 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について 主な理由（2、3と答えた場合のみ） | ① ほとんど同じ 2 少少の変更があつた 3 大幅に変更している |
| | その他、評価すべき点等 主な理由（2、3と答えた場合のみ） | 10回行っている「こども病院の体験搭乗会」や20回目を迎える「空からサンタがやってきた」や大船渡での体験搭乗会等のボランティアイベントを更に充実させ、佐久から温かな心の輪を広げます。 |

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

| | |
|---------|--|
| 今後の事業展開 | 佐久熱気球クラブも設立から23年を迎えようとしています。クラブ運営の中心は高齢となっており一番のイベントでもあります「佐久バルーンフェスティバル」の開催運営には若い・新しい力が必要となってきております。 今回作成した新気球は熱気球操縦の訓練用（2000m³）の大きさです。新気球にて訓練を積み熱気球操縦士を養成しイベントや大会の充実を図ります。 訓練に参加するクルー（お手伝い）も商工会議所青年部の皆さんのが毎回集まり今までにない発想を持ったメンバーが集まり今後が楽しみです。 |
| | |